



RI 第 2 6 1 0 地区

東となみロータリークラブ会報

2013-2014 年度 No.8

事務局 〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4 福光会館 3F

ふくみつ光房内 TEL 0763-53-1333 FAX 0763-53-1334、

inashorc@athena.ocn.ne.jp

2013-2014 年度 会長 水島政光 、幹事 三角信行

2013-2014 年度 RI テーマ



「ロータリーを実践し
みんなに豊かな人生を」
(ロン D. パートン会長)

~~~~~

### 例 会 記 錄

#### 第 1 6 8 5 回 例 会

平成 25 年 8 月 28 日(水) 井波文化センター

1. 点 鐘 会長

2. ソング：それでこそロータリー



3. 会長の時間：湯浅ガバナーが富山大空襲のことを覚えていると温故知新に書いてあります。昨日城端でクマが出ました。エサを求めて里まで来たのでしょうか。ビールが明治時代に入ってきました。明治 24 年 8 月 29 日の新聞一面に掲載された。



4. 幹事報告：① 9 月のレートは 1 \$ = 100 円。  
② 財団学友会ニュースレターは各テーブルに配布  
③ 例会後理事会を開催します

5. ニコニコ BOX (SAA : 本日 6 名)

**高瀬会員**：朝晩は秋の虫の鳴き声が聞こえます。そろそろセミと交代の時季ですね。所要があり早退します。中島さん卓話聞けなくてごめんなさい。

**中島会員**：息子のラーメン店が明日から 11 月末までの 3 か月間青森県五所川原町の大型ショッピングセンターに店を出すことになりました。東北の人の口に合うかどうか心配ですが、陰ながら応援したいと思います。

**小西会員**：毎年、魚津じやんとこい祭りのせり込み蝶六の踊りを観に行きますが、今年は貴賓席（名誉市民）の中尾哲雄さんとお会いして、夫婦で記念写真を。本日、葉書が届き、1 年の礼と現在オーストリア滞在報告。

**山本会員**：日月火と釜山の水道水フロリデーションを研修してきました。今回で 6 度目です。

**河合会員**：ガバナー公式訪問の日に欠席するのは大変罪悪感を持つものです。造園組合 10 人で京都貴船の川床などを含め研修会でした。

**岩崎会員**：てんたかく刈取り 1. 2 ha で終了です。夕立が来ないことを祈ります。早退します。



## 卓話 「私の職業紹介」

### 中島眞市

今日は、マーシ園の業務内容、利用者さんのこと等々について少し時間をお時間をいただきます。

マーシ園は昭和 34 年に創立されて今年で満 54 年、半世紀以上の歴史があり、県内で一番古い施設であります。

(全国的にも古い歴史) 昭和 34 年に、県の養蚕試験場跡地を買収し、山見地区で数人の利用者さんによりスタートしました。(永楽付近)

作業所が手狭になったため、昭和 37 年、場所を変えて拡張されました。場所は、現在の南砺市民病院の東側で、庄川町との町境がありました。

そして、11 年後の昭和 48 年に 2 度目の移転を行い、旧南山見小学校跡地、現在地に移転しました。

現在の島田理事長は 6 代目であります、現在地に移転当時は 2 代目理事長の島田英治さんであります。

配布資料の中に、慈母観音像の写真コピーがあると思いますが、島田英治理事長が寄贈されたもので、制作は、横山豊介先生であります。(母が子に対するがごとく、どこまでも深く大きい慈愛の心を表した菩薩像)

今まで 40 年間、マーシ園を見守っていただいているわけであります。

マーシ園の「マーシ」について少し申し上げたいと思いますが、専門家の高瀬先生がおられますので、間違つておればお教えいただきたいと思います。

マーシとは、古代インドの言語であります、梵語、サンスクリット語というほうが正しいかも知れませんが、親が子供をいつくしみ可愛がるような深い愛情という意味の「慈愛」。英語では、いつくしみあわれみというような意味で「慈悲」と理解しております。

事業内容について少し紹介します。パンフレットをご覧ください。

大きく分けて八つの事業を展開しています。8 事業で毎日およそ 200 名の方がサービスを受けておられます。

利用の契約や利用登録されている方は、現在約 300 名であります。週 2~3 日利用の方もおられますので、1 日平均 200 名程となります。

その内、マーシ園で生活しておられる方(入所利用者)は、90 数名です。

徐々に減ってはきましたが、県外からの入所者もおられ、(県はもとより全国的にも早くできた施設の為) 現在、東京、新潟、岐阜、石川など出身者、9 名。

また、県内でも南砺市以外の人が、富山、黒部、滑川、射水、氷見、砺波など 40 名で残り 40 名ほどが南砺市出身者です。

簡単にパンフレットに基づき説明します。

残された時間で、日ごろ職場で取り入れています自己診断について紹介し、実際に行っていただきたいと思います。

ア まず、職員に対する診断、今日は 2 種類用意しました。実際は 4 種類程使っています。

毎日の仕事、とてもハードで心身ともに疲れが目立ち、中には鬱になり離脱するものもいます。

毎日がハプニングの連続、想定外の出来事があります。(障害の内容によっては、同じ方でも毎日変化される。…その対応) (徘徊ではないが、連絡なしに外に出かけ検索する。) (重度のテンカン発作による救急搬送) 等など大変、精神的にも、身体的にもまいってしまう。

そんな時、定期的に疲労度チェックを実施⇒ 2 週間に一回程度 各自で行う

重度の判定が出れば、本人の意思に関係なく、休んでもらうようにしている。でないと、大きなミスにつながる。

イ もう一つのものは、職員ではなく利用者さん用で、各種の支援の参考にしている。

これは、「認知症の人と家族の会」⇒全国組織があり、富山県支部もある。が、日頃の経験からまとめられたもので、私たちも判断の一つとして採用しています。

この結果を踏まえ、家族の意見も聞きながら医療機関等に繋いでいる。

市民病院でしたら、週一回ですが、物忘れ外来(完全予約制)、認知症の方を対象としたグループホーム(五領島交差点・ニチイ学館経営)、富山型デイサービス、重度であれば、専門の病院(北陸病院等)

皆さんには大変失礼とは存じますが、めやす表に、チェックしてみてください。

時間が来ましたので、終わらせていただきます。ありがとうございます。

閉会点鐘